

豊年踊り

心ひとつに50年

赤目谷豊年踊り
50周年記念誌

赤目谷青年会・婦人会

目 次

50周年を迎えて 赤目谷青年会会长 山岸睦夫	1
豊年踊りの思い出 赤目谷総代 村上伸治	2

赤目谷豊年踊り 心ひとつに 50 年

豊年踊りのはじまり	6
生音頭がこだまする	10
豊年踊りの継続とふるさとづくり	14
豊年踊りを彩る人たち	20
50 年の歩み	
第 1 回（昭和 42 年）～第 10 回（昭和 51 年）	28
第 11 回（昭和 52 年）～第 20 回（昭和 61 年）	30
第 21 回（昭和 62 年）～第 30 回（平成 8 年）	32
第 31 回（平成 9 年）～第 40 回（平成 18 年）	34
第 41 回（平成 19 年）～第 50 回（平成 28 年）	36
フレー！フレー！赤目谷！！	38

資料集

赤目谷居住者の変遷	44
赤目谷MAP	46
新聞で紹介された豊年踊り & 赤目谷	48
山田男と白滝姫くどき	50
小谷三ヶ村春季祭礼・獅子宿	53
あとがき	57

50周年を迎えて



赤目谷青年会会長 山岸睦夫

赤目谷の豊年踊りが 50 周年を迎えました。

一口に 50 年と言っても、我々の世代が生まれる前に始まっている祭りですから、立ち上げの苦労をはじめ、正直、知らないことの方が多いですが、本当によく続いたなと思います。

我々青年会メンバーは、わずか数名です。豊年踊りの準備や運営は、赤目谷集落全体の力を借りなければできません。普通ならとっくに投げ出していてもおかしくないような状況です。

しかしながら、赤目谷で生まれ育った我々には、夏休みの終わりの、集落の人たちが全員集まる楽しいお祭り・バーベキューとして、心の中にしっかりと刻み込まれているのでしょう。多少の苦労よりも、お宮さんの境内で、子どもたちをはじめ地域の人たちの笑顔を見るのが最高に嬉しいのです。

こんな素敵な地域のお祭り、また、地域を愛する心を、微力ではありますが、できる限りの力で守り育て、我々の子どもたちの世代にもしっかりと伝えていきたいと考えています。

今後とも、皆様方のご指導、ご協力、ご支援、あたたかい励ましをどうぞよろしくお願い申し上げます。

豊年踊りの思い出



赤目谷総代 村上伸治

今年も、地蔵祭りと豊年踊りの日が近づいてきました。長い間の思い出が昨日のように思える今日この頃です。

思い起こせば、豊年踊りの始まりは、赤目谷の共同作業場の床の張替え仕事をやっていて、夕方に疲れ直しに一杯の酒が始まつたことにあります。

私の兄貴分であり、酒呑み友達でもあり、また、大工仕事では親方として、まさに恩師である松田三一さん。今はもうこの世の人でなく、大変寂しい思いをしておりますが、その親方のおかげで、赤目谷の豊年踊りを立ち上げることができました。松田さんは、大工仕事でも音頭取りとしても婦負郡周辺では右に出る人はいない素晴らしい人でした。心から感謝申し上げます。

以前は、山田村でも、蓮教寺の境内などで、若い衆を集め盆踊りが盛んに行われ、その面影が思い出されますが、今、富山県内において、赤目谷の豊年踊りのような「やんさ」「かわさき」の生音頭による情緒豊かな踊りはないのではと思います。

この豊年踊りは、これからもできる限り長く守り続けたい、私たちの大切な大切な宝ものです。

赤目谷集落全景

(平成 28 年 5 月撮影)



We Love 赤目谷
We Love 豊年踊り



2016/08/23

赤目谷 豊年踊り

心ひとつに 50 年